

鴨居地区

鴨居地区別計画推進委員会

地域 鴨居1～7丁目、鴨居町

緑区の東側に位置し、地区の北側に鶴見川を挟んで都筑区、南側は神奈川区、保土ヶ谷区に隣接する南北に長い地区です。地区北部には鴨居駅があり、駅を中心に商店街、医療機関が密集しており、南側には丘陵状に住宅地が広がっています。駅周辺は平地ですが、他は起伏に富む地形となっています。

地域ケアプラザをはじめ、障がい者の地域作業所、通所施設など福祉施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

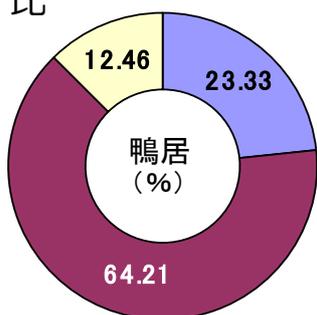
震災時避難場所（地域防災拠点）：鴨居小学校、緑小学校、東鴨居中学校（東本郷地区と共有）

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

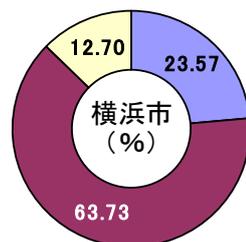
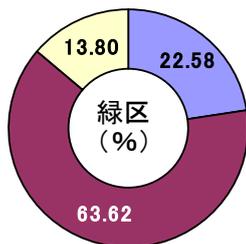
<年齢区分別人口>

平成28年(2016年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

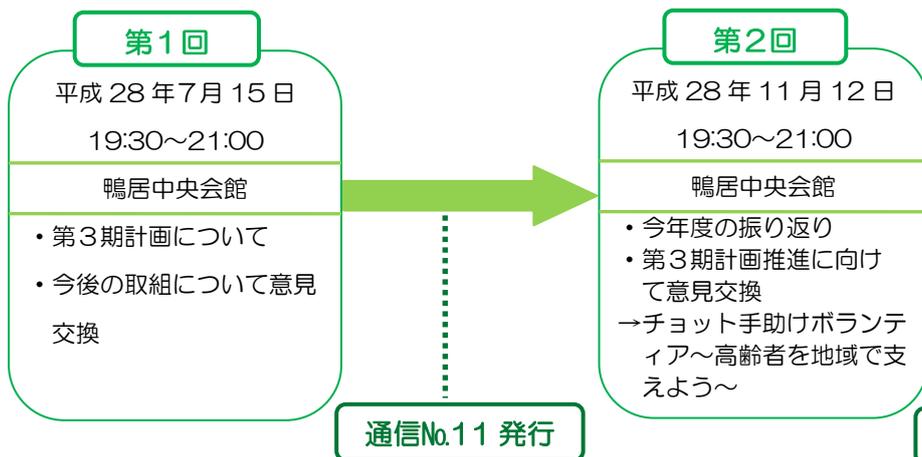


75歳～	1,558人
65～74歳	2,016人
15～64歳	9,839人
6～14歳	1,204人
0～5歳	705人
合計	15,322人

75歳～	18,912人
65～74歳	21,804人
15～64歳	114,730人
6～14歳	15,464人
0～5歳	9,425人
合計	180,335人

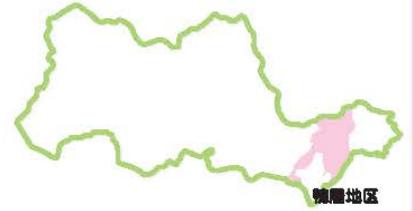
75歳～	417,171人
65～74歳	463,289人
15～64歳	2,380,661人
6～14歳	289,593人
0～5歳	184,639人
合計	3,735,353人

地区別計画推進委員会の開催状況





鴨居地区



第3期目標に向けた活動開始!

目標 『安全・安心・健康』のまちづくり
『つながり』を大切にした**後継者の育成**

平成28年度の主な取組

鴨居防災ささえあいカードや黄色いリボンなど、従来から行っている取組に加え、

①「**チョイボラ**」の検討、②「**自治会加入促進パンフレット**」の作成を行いました。



(写真:「推進委員会」での検討の様子)

①「**チョイボラ**」の検討

「チョイボラ」とは、高齢化が進行しているなかで「業者に頼むほどではないし、かといって無償では頼みにくい!」という方々を助ける組織(人材バンク)です。

支援が必要な方々を地域で支えるため、鴨居地区で「チョイボラ」を発足することができないか検討します。

②「**自治会加入促進パンフレット**」の作成

「つながり」を大切にした後継者の育成のために、多くの方々に地域の基盤である自治会に加入してもらうことが重要です。

そこで、自治会への関心を高めるため、主な活動内容を紹介するパンフレットを発行し、未加入の方に配布します。



(画像:「自治会加入促進パンフレット」)



鴨居地区別計画推進委員会



鴨居地区別計画推進委員会
平成28年8月発行 第3期 No.1 (通算No.11)

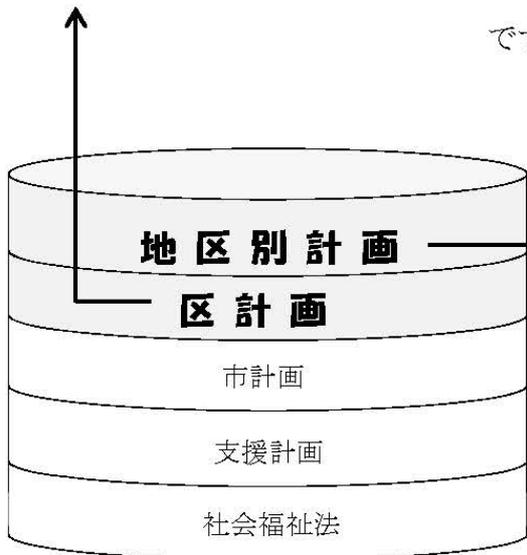
鴨居地区別計画推進委員会通信

地域福祉保健計画とは、誰もが地域で安心して暮らし続けられる地域を目指して、地域の課題に、区民、事業者、行政が協働で取り組む計画です。

緑区の計画の愛称が

「みどりのわ・ささえ愛プラン」

です。



木村委員長

鴨居地区別計画 第3期
 (平成28年4月～平成32年3月)

目標1
 「安全・安心・健康」のために

目標2
 地域での『つながり』を大切にし、
 地域における後継者を育成するために



これまでの取組の紹介！！（目標1関連）
鴨居地区でこれまで取り組んでいる黄色いリボンとは？

災害時に「我が家は大丈夫！」と周囲に知らせるために、家の外に掲げます。そして、近隣での助け合いや安全確保につなげます。(平成23年から開始)

リボンは中学生、PTA、自治会等の協力を得ながら、手作りで作成しています。



平成28年7月15日に
第1回鴨居地区別計画推進委員会が行われました



<テーマ1> 黄色いリボンを続けていくためにどうしたらいいか

- ・黄色いリボンがどのような意味をもち、どのような時に使うのか知らせていく。
- ・何かあった時には白いタオルでもいい、などの柔軟な取組にしてもいいのでは。
- ・黄色いリボンだけでなく、他の情報と合わせて活用できるといいのでは。

<テーマ2> 住民の支え合いをどうしていくか

- ・日頃から声をかける、皆で助け合う等を意識していくことが大切である。
- ・見守る人が、災害時に本当に気にかけてくれる人がよい。日頃見かけない人を気にかけてたり、どんな人かを知ったりしていく。高齢者の参加できる場、世代間交流のイベント企画があるとよい。
- ・おせっかい班として新しい活動をしてよいいのではないかな。新しい集合住宅の情報も集めていきたい。

<まとめ>

- ① 黄色いリボンは、地区ごとに取り組んでいくことで掲出率も変わってくるのではないかな。
- ② 支え合いは、すぐに仕組ができることより、時間をかけて取り組んでいきたい。



第1回委員会の様子

黄色いリボンは、一斉清掃の日と防災訓練の時に掲出しているよ。



【鴨居地区別計画推進委員】(順不同・敬称略)				○委員長			
○木村 赳	中川 一人	加山 友則	小宮山 政行	作田 豊彦	庄司 登志子	八木下 賢	
小山 寅男	齊藤 嘉輝	岩泉 智子	板垣 憲明	狩野 陽二	菅原 喜勇勝	秋元 秀夫	
小池 邦仁	岩岡 正博	鈴木 道子	西川 克美	中野 隆	湯川 芳子	下畑 輝夫	
栗幡 哲郎	織裳 秀次	黒滝 剛	柳沼 良一	小原 修	服部 真人	入原 康	

次回の鴨居地区別計画推進委員会は 11月12日(土) です

この通信は、社会福祉法第107条に基づく
「地域福祉保健計画」による鴨居地区の取り組みについてお知らせしています。

【連絡先】

鴨居地区別計画推進委員会
事務局 TEL: 930-2246
FAX: 930-2255
緑区 戸籍課長



鴨居地区別計画推進委員会
平成28年12月発行 第3期No.2 (通算No.12)

鴨居地区別計画推進委員会通信

平成28年11月12日(土)に第2回鴨居地区別計画推進委員会を開催しました。

高齢者を地域で支えるための、チョット手助けボランティア「チョイボラ」について意見交換しました。



▲ 委員会の様子

「チョイボラ」とは、高齢化社会が進行する昨今、「業者に頼むほどではないし、かといって無償では頼みにくい」、そんな方々を住民相互で助ける組織(人材バンク)です。1時間500円程度の安価な費用で、住民生活を支援していきます。

チョイボラの例

- 雪が降って自宅の前が歩けないので雪かきをしてほしい
- 天井に付いている電球が切れたけど、
高くて手が届かないので交換してほしい
- 買い物に行きたいけど、重いものが持てないので手伝ってほしい
- ストープの灯油を買いたいけど、運んでくれませんか
- 桜まつりを見に行きたいけど、歩けないので連れて行ってほしい
- 庭の植木が繁茂しているので剪定してほしい
- 庭の雑草が伸びてきたので刈り取ってほしい

などなど、簡単な作業を想定しています！



【鴨居地区別計画推進委員】 (順不同・敬称略、○委員長)

○木村 赳	庄司 登志子	板垣 憲明	中川 一人	加山 友則	小宮山 政行
作田 豊彦	八木 下賢	小山 寅男	斉藤 嘉輝	岩泉 智子	狩野 陽二
菅原 喜勇勝	秋元 秀夫	小池 邦仁	岩岡 正博	鈴木 道子	西川 克美
中野 隆	湯川 芳子	下畑 輝夫	栗幡 哲郎	織袋 秀次	黒滝 剛
柳 沼良一	小原 修	服部 真人	入原 康		

委員会でのご意見〔チョイボラ〕

★ あり方について

- 仕事ではなく、「ご近所さん同士のお助けごと」としていただけるとよい。
- 介護保険や他機関で実施しているサービスとの違いを整理する必要がある。

★ 担い手について

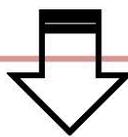
- 民生委員や地区社会福祉協議会がやっていくのは、限界があり、たいへん。自治会でも何か対応策を考えていく必要がある。
- 需要と供給のバランスがあり、働いている人は手助けをする時間が取れない。活動の担い手不足が課題になるので、家族の協力も必要だ。
- 高齢者自身も人材として考えてよい。

★ ニーズについて

- 高齢者自身が、自分が困っていることをSOSとして発信できるだろうか。
- 「どのような人がどういう支援を必要としているのか」を調査する必要がある。

★ 費用について

- 対等な立場でいるために、少額でも有料にした方が依頼しやすい。
- 様々な事情がある人もいるため、生活状況に応じて無料にするなどの減免も検討していく必要がある。



目指す方向性については、賛成の意見が多い状況でした。実施にあたっては、様々な課題を検討していく必要がある。今すぐの立ち上げは難しいが、前向きに検討していきたい。



木村委員長

この通信は、社会福祉法第107条に基づく「地域福祉保健計画」による鴨居地区の取り組みについてお知らせしています。

【連絡先】

鴨居地区別計画推進委員会
事務局 TEL：930-2246
FAX：930-2255
緑区 戸籍課長